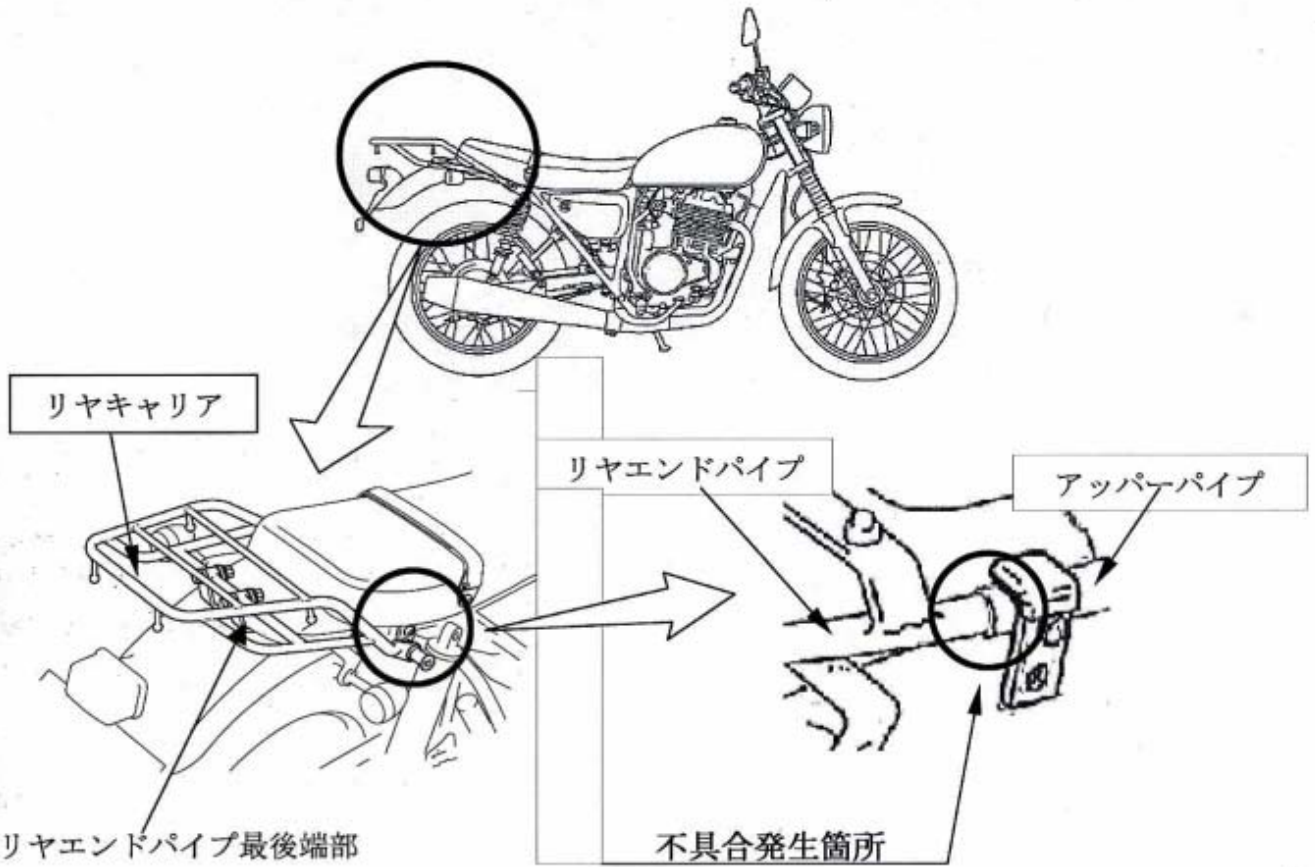


改善箇所説明図



ホンダアクセス製リアキャリアを装着した車両において、リアキャリアの取付位置が不適切なため、リアキャリアに荷物を積んだ状態で走行すると、路面からの衝撃等により、車両フレームボディ後端部のリアエンドパイプとアッパーパイプの溶接接合部に荷重が集中し、亀裂が生じることがある。そのため、そのまま使用を続けると当該溶接接合部が折損し、リアキャリアの下にあるリアフェンダー・方向指示器・番号灯・制動灯が垂れ下がるおそれがある。

改善の内容

全車両、リアキャリアを対策品に交換するとともに、フレームボディの当該溶接接合部を点検し、損傷のあるものは補修を行う。

改善前	改善後
<p>リアキャリア</p> <p>377mm</p> <p>フレームボディ</p> <p>締付箇所 6箇所</p>	<p>リアキャリア</p> <p>466mm</p> <p>+89mm</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレート(R/L) ・M8ボルト×6 ・M6ボルト×2 * ・カラー×4 <p>締付箇所 8箇所</p>

注： は交換部品を示す。

識別：改善措置実施後、フレームエンドパイプ右側溶接接合部の下部に黄ペイントでマーキングする。